

産業能率大学通教校友会 合同部会（役員会議）議事録

作成日 2016年12月11日

作成者 杉山 純一

会議名	12月期合同部会（役員会議）
開催日時	2016年12月10日(土) 12:55～15:20
開催場所	産業能率大学 自由が丘キャンパス 7号館4階小会議室
出席者(10名) (敬称略・順不同)	佐藤会長、渡部副会長、持木副会長、入江理事、末瀬理事、篠崎理事 伊木理事、杉山副会長（記） 事務局：中林課長、河野さん
【議 事】	
<p>※敬称略</p> <p>○開会挨拶 佐藤会長より合同部会（役員会議）開催の挨拶。</p> <p>○議事録作成は杉山が担当。</p> <p>○議案審議</p> <p>(1) 11月期合同部会（役員会議）の議事録について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P1の4行目・・・議事録作成は篠崎が」担当⇒議事録作成は篠崎が担当 に修正する。 ・P2の下から1&2行目は確認担当記載誤りのため、次の様に修正する。 ⇒準会員登録について佐々木先生、佐藤先生、欧陽先生に対し、持木副会長から確認を取る。 ・P3の1行目・・・次回の合同部会（全体会議）は⇒次回の合同会議（役員会議）はに修正する。 <p>(2) 支部長・事務局長会議について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇親会のケータリングは日本パーティーサービスへ依頼することとする。 なお、予算オーバー分¥60,000-については予備費より充当する。 ・支部長・事務局長会議次第の記載内容は次の通りとする。 各部会の報告事項としては、総務部会：2016年度事業中間報告、支部PR紙について（5分）、広報部会：2016年度事業中間報告（5分）、企画部会：2016年度事業中間報告、第四回校友のつどいの報告（15分）とする。 ・全体討論のテーマとしては、『校友会活動の活性化について』とし、「次回の校友のつどいを成功させるためにはどうしたらよいか」「オール産能について」等の討論を図る。 ・会議出席者へ配布する支部長・事務局長会議次第を1月10日までに作成し、河野さん宛にメールする。[担当：篠崎] ・各部会の事業報告書の題名を「2016年度〇〇部会 事業報告(中間報告)」に統一する。 ・総務部会資料の各種助成金実施報告書の内訳については、河野さん作成する。なお、項目No.は(1)～(9)の連番にする。 ・支部PR紙の掲載支部順は沖縄からとし北上し最終を北海道とする。おしらせに記載されている「宮 城支」の表示を他支部と合わせ「宮城支部」とする。各支部への原稿提出期限を2月15日とする。 	

- ・広報部会資料に記載してある第27号会報誌発行については「2017年2月発行とし、1月中旬に発送予定です」に変更する。
- ・企画部会資料の事業報告にて記載の「2. 支部長・事務局長会議の開催」の3行目「今回も2017年1月28日予定通り開催。」は削除する。また、「6. 校友のつどい開催」の項「出席者は80名でした。」を追加する。
- ・第四回校友のつどい予算実績対比表資料の右上に記載されている資料用途名は削除する。
- ・第四回「校友のつどい」アンケート集計結果資料に記載してある・良かった・普通等の分布割合は人数では無く、%表示に変更する。
- ・収支決算報告書資料の右上に記載されている資料用途名は削除する。
- ・各支部から提出された「2. 支部活動が円滑に行うための本部に対する要望事項」において北海道支部が記載してきた内容は「本部に対する要望事項に該当する内容でなかったために割愛させていただきました」明記して掲載しないこととする。
愛知支部の要望事項に対する回答は「学校の考えもあり、オール産能の考え方に関しまして、話題になっております。」とする。
大阪支部の要望事項に対する回答は「2016年12月から復活させました。」とする。
また、回答不要な支部の解答欄の「・」は削除する。
- ・支部長・事務局長会議の議事録作成者は桐生理事に担当可能か確認する

(3) その他

- ・持木副会長より新支部候補の千葉支部・産業能率会の現状についてがあった。
- ・渡部副会長より卒業記念品の次回以降の検討。並びに、校友会会則の変更に関する提案があった。

以 上

次回は支部長・事務局長会議が下記の通り開催されるので、関係者は10:00までに集合して下さい

平成29年1月28日（土）11:00～ 自由が丘キャンパス7号館